

林野火災注意報・警報 の運用が始まります。

令和8年
4月1日
運用開始

～札幌の豊かな森林を火災から守るために～

(対象期間：毎年4月～6月)

令和7年2月に岩手県大船渡市で発生した大規模な林野火災を受けて、札幌市火災予防条例を改正しました。札幌市では、令和8年4月1日から「林野火災注意報・警報」の運用を始めました。

林野火災注意報について

林野火災の予防上必要と認められる場合に、対象区域内での火の使用制限の「努力義務」が課せられます。(罰則なし)

4月～6月の気象状況が、

①～③のすべてに該当した場合に発令することがあります。 ※ 降水見込み、積雪状況等により発令しないことがあります。

①前3日間の合計降水量が1mm以下

②前30日間の合計降水量が30mm以下

③乾燥注意報が発表された場合

林野火災警報について

林野火災の予防上危険と認められる場合に、対象区域内での火の使用制限の「義務」が課せられます。(罰則あり)

4月～6月の気象状況が、注意報の基準を満たし、

強風注意報が発表された場合に発令することがあります。 ※ 降水見込み、積雪状況等により発令しないことがあります。

林野火災注意報の基準

+

強風注意報が発表された場合

注意報・警報が発令された場合の制限行為

※ 注意報発令中は「努力義務」、警報発令中は「義務」となります。

- ① 山林・原野等において火入れをしないこと。
- ② 煙火(花火など)を消費しないこと。
- ③ 屋外において火遊び又はたき火をしないこと。
- ④ 引火・爆発の恐れのある可燃物の付近で喫煙をしないこと。
- ⑤ 喫煙等の残火、取灰を完全に始末すること。

【罰則について】

林野火災警報発令中に、札幌市火災予防条例第34条に規定する火の使用制限に従わなかった場合、消防法に基づき罰則(30万円以下の罰金または拘留)が適用されることがあります。

■ お問い合わせ先 札幌市消防局予防部予防課

☎ 011-215-2040 (8:45-17:15)

最新の発令状況等は、札幌市公式HP等で公開しております。

発令状況はこちら!



(札幌市公式HP)

発令中の制限行為と対象区域

札幌市火災予防条例に基づき、対象区域では以下の行為等が規制されます



規制対象外となるもの (例示) ※ 既製品に限ります。

バーベキューコンロ

七輪

シングルバーナー

焚き火等の届出について

焚き火等を行う際は、注意報・警報の発令に関わらず、これまでどおり所轄消防署へ事前の届け出をお願いします。

札幌市 揚煙等の行為の届出書

制限行為の対象区域について

札幌市では対象区域を、「市街化区域外で山林のある区域」としてしています。
下記の番地で表記された住所で、**市街地から離れた山林区域が対象です。**

(※ 札幌市公式HPでも公開しています。)

札幌市 火災予防上危険な気象状況

～対象区域～

中央区：(盤溪・円山・円山西町・宮ヶ丘・宮の森)の番地
厚別区：(厚別町上野幌・厚別町小野幌・厚別町下野幌)の番地
豊平区：(西岡・羊ヶ丘)の番地
清田区：(有明・清田・里塚・真栄)の番地
南区：(石山・硬石山・川治町・北ノ沢・小金湯・定山溪・白川澄川・滝野・砥石山・常盤・砥山・豊滝・中ノ沢・藤野真駒内・簾舞・南沢・藻岩下・藻岩山)の番地
西区：(小別沢・西野・福井・平和・宮の沢・山の手)の番地
手稲区：(手稲稲穂・手稲金山・手稲富丘・手稲本町)の番地

事前の消火の備えについて

- 消火器や水バケツを近くに準備
- 周囲の枯草等の可燃物の除去
- 消火後の残り火の確認

